

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 大証金(大阪証券金融株式会社)
 コード番号 8512 URL <http://www.osf.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀田 隆夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画総務部長 (氏名) 西山 剛
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 東大

TEL 06-6233-4510

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,992	—	215	—	304	—	258	—
20年3月期第1四半期	1,711	△2.3	226	5.9	313	17.2	249	23.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	7.24	—
20年3月期第1四半期	6.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第1四半期	550,853		33,223		6.0		930.36	
20年3月期	719,011		32,902		4.6		921.57	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 33,223百万円 20年3月期 32,902百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,700	—	400	—	500	—	350	—	9.80
通期	7,800	4.5	950	60.6	1,200	26.9	800	23.4	22.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 37,000,000株 20年3月期 37,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,289,397株 20年3月期 1,297,301株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 35,710,711株 20年3月期第1四半期 37,020,186株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、サブプライムローン問題を背景とする米国経済の減速の影響や原油・原材料価格上昇による企業収益の悪化などから、このところ足踏み状態に陥っており、先行きについても不透明感が広がる状況となりました。

株式市況についてみますと、1万2千円台でスタートした日経平均株価は、世界的な金融不安が一時的に薄らいだことによる米国株式相場の持直しや円高の是正等を反映し、6月上旬には1万4千円台まで水準を切り上げましたが、その後は再び景気後退懸念の台頭もあり、一進一退の不安定な状態が続いております。

この間、大阪市場における信用取引買残高は、概ね1,400億円を挟む水準で推移しましたが、6月末にかけて株式市況の低迷を反映し1,200億円台まで減少しました。

このような情勢下、証券金融業におきましては、株券レポ取引の拡大に努めたほか、ビジネスローンを中心とした個人向け証券担保ローンにも注力するなど、引続き積極的な業務展開を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期の連結営業収益は、1,992百万円と前年同期比280百万円(16.4%)の増収となりました。一方、連結営業利益は借入金利息など営業費用の増加や販売費及び一般管理費の増加などから215百万円と前年同期比10百万円(4.8%)の減益、連結経常利益は304百万円と前年同期比8百万円(2.8%)の減益となりました。連結四半期純利益は貸倒引当金戻入額の増加や法人税等の減少などにより258百万円と前年同期比9百万円(3.7%)の増益となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<証券金融業>

証券金融業におきましては、新興市場低迷の影響などにより貸借取引及び信用サポートローンの貸付金が減少したものの、株券レポ取引やビジネスローンなどの残高が増加したことなどから、営業収益は1,946百万円と前年同期比284百万円(17.1%)の増収となりました。営業利益は営業費用や一般管理費が増加したことなどから178百万円と前年同期比14百万円(7.5%)の減益となりました。

<不動産賃貸・リース業>

不動産賃貸・リース業におきましては、リース物件に大きな異動はなかったものの、不動産賃貸料が減少したため、営業収益は46百万円と前年同期比3百万円(6.9%)の減収となりました。営業利益は営業費用や一般管理費が減少したことなどから31百万円と前年同期比4百万円(15.7%)の増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は550,853百万円と前連結会計年度末に比べて168,157百万円減少しました。これは、借入有価証券代り金が129,927百万円、営業貸付金が13,786百万円、有価証券が12,527百万円減少したことなどによるものです。

一方、負債総額は517,629百万円と前連結会計年度末に比べて168,478百万円減少しました。これは、コールマネーが134,400百万円増加したものの、短期借入金が268,100百万円、コマーシャル・ペーパーが57,000百万円減少したことなどによるものです。

また、純資産額は33,223百万円と前連結会計年度末に比べて321百万円増加しました。これは、利益剰余金が148百万円、その他有価証券評価差額金が172百万円増加したことなどによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、842百万円増加し、3,780百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、938百万円の収入超(前年同期比491百万円収入増)となりました。収入の主な内訳は利息及び配当金の受取1,743百万円や税金等調整前四半期純利益320百万円であり、支出の主な内訳は利息の支払747百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、4百万円の支出超(前年同期比46百万円支出減)となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出3百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、91百万円の支出超(前年同期比69百万円支出減)となりました。これは、主に配当金の支払91百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は期初計画の想定範囲にとどまっていることから、平成20年4月24日公表の連結業績予想は、第2四半期連結累計期間・通期いずれも変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,780	1,637
有価証券	90,978	103,506
営業貸付金	116,198	129,985
借入有価証券代り金	317,968	447,896
その他	898	15,055
貸倒引当金	△487	△487
流動資産合計	527,337	697,593
固定資産		
有形固定資産	875	905
無形固定資産	947	1,025
投資その他の資産		
投資有価証券	21,521	19,316
その他	172	171
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	21,692	19,486
固定資産合計	23,515	21,417
資産合計	550,853	719,011
負債の部		
流動負債		
コールマネー	258,100	123,700
短期借入金	141,800	409,900
コマーシャル・ペーパー	—	57,000
貸付有価証券代り金	105,762	78,797
未払法人税等	14	267
賞与引当金	45	93
その他	6,240	10,621
流動負債合計	511,961	680,379
固定負債		
長期借入金	4,500	4,500
退職給付引当金	384	449
役員退職慰労引当金	221	371
その他	562	407
固定負債合計	5,668	5,728
負債合計	517,629	686,108

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	1,729	1,729
利益剰余金	28,366	28,218
自己株式	△532	△532
株主資本合計	33,064	32,915
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,231	1,059
土地再評価差額金	△1,072	△1,072
評価・換算差額等合計	159	△13
純資産合計	33,223	32,902
負債純資産合計	550,853	719,011

(2) 四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年6月30日)	
営業収益	1,992
営業費用	1,143
営業総利益	849
販売費及び一般管理費	633
営業利益	215
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	35
持分法による投資利益	49
その他	3
営業外収益合計	89
営業外費用	
その他	0
営業外費用合計	0
経常利益	304
特別利益	
貸倒引当金戻入額	16
特別利益合計	16
税金等調整前四半期純利益	320
法人税、住民税及び事業税	5
法人税等調整額	56
法人税等合計	61
四半期純利益	258

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間

(自平成20年4月1日

至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	320
減価償却費	111
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△48
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△64
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△150
受取利息及び受取配当金	△1,731
支払利息	745
持分法による投資損益 (△は益)	△49
定期預金の純増減額 (△は増加)	700
有価証券及び投資有価証券の純増減額 (△は増加)	18,108
営業貸付金の増減額 (△は増加)	13,786
借入有価証券代り金の増減額 (△は増加)	129,927
コールマネー等の純増減 (△)	134,400
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△268,100
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△57,000
貸付有価証券代り金の増減額 (△は減少)	26,964
貸借取引担保金の増減額 (△は減少)	△2
信用サポートローン担保金の増減額 (△は減少)	1,500
役員賞与の支払額	△33
その他	807
小計	193
利息及び配当金の受取額	1,743
利息の支払額	△747
法人税等の支払額	△250
営業活動によるキャッシュ・フロー	938
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△0
無形固定資産の取得による支出	△3
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	842
現金及び現金同等物の期首残高	2,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,780

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	証券金融業 (百万円)	不動産賃貸 ・リース業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,946	46	1,992	—	1,992
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	28	28	(28)	—
計	1,946	74	2,020	(28)	1,992
営業利益	178	31	209	6	215

(注) 1 事業区分は事業内容の実態を勘案して区分したものであります。

2 各事業の主な売上高

(1) 証券金融業…貸付金利息、有価証券貸付料等

(2) 不動産賃貸・リース業…不動産、コンピューター、ソフトウェアの賃貸料

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

在外子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

「参考資料」

【前年同四半期にかかる財務諸表等】

(1) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額 (百万円)
I 営業収益	
1 貸付金利息	826
2 借入有価証券代り金利息	580
3 受取手数料	39
4 有価証券貸付料	139
5 その他	125
営業収益合計	1,711
II 営業費用	
1 借入金支払利息	528
2 コマーシャル・ペーパー利息	3
3 貸付有価証券代り金利息	67
4 有価証券借入料	127
5 支払手数料	162
6 その他	15
営業費用合計	904
営業総利益	806
III 販売費及び一般管理費	580
営業利益	226
IV 営業外収益	
1 受取配当金	35
2 持分法による投資利益	49
3 その他	2
営業外収益合計	86
V 営業外費用	
その他	0
営業外費用合計	0
経常利益	313
VI 特別利益	
1 土地建物売却益	5
2 貸倒引当金戻入	7
特別利益合計	12
VII 特別損失	
有形固定資産除却損	3
特別損失合計	3
税金等調整前四半期純利益	322
法人税、住民税及び事業税	18
法人税等調整額	54
四半期純利益	249

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区 分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	322
減価償却費	109
貸倒引当金の減少額	△ 7
賞与引当金の増加額	48
退職給付引当金の減少額	△ 10
役員退職慰労引当金の減少額	△ 100
受取利息及び受取配当金	△ 1,518
支払利息	599
持分法による投資利益	△ 49
有形固定資産売却益	△ 5
有形固定資産除却損	3
定期性預金の純減少額	300
有価証券及び投資有価証券の純増加額	△ 8,879
貸付金の減少額	15,403
借入有価証券代り金の減少額	130,384
コールマネーの増加額	15,400
短期借入金金の減少額	△ 139,000
コマーシャル・ペーパーの減少額	△ 38,000
貸付有価証券代り金の増加額	27,057
貸借取引担保金の増加額	343
信用サポートローン担保金の減少額	△ 2,400
役員賞与の支払額	△ 38
その他	△ 285
小 計	△ 321
利息及び配当金の受取額	1,618
利息の支払額	△ 674
法人税等の支払額	△ 176
営業活動によるキャッシュ・フロー	446
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 41
有形固定資産の売却による収入	7
無形固定資産の取得による支出	△ 16
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 50
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△ 0
配当金の支払額	△ 160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 160
IV 現金及び現金同等物の増加額	235
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,212
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,448

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	証券金融業 (百万円)	不動産賃貸 ・リース業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,662	49	1,711	—	1,711
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	28	28	(28)	—
計	1,662	77	1,739	(28)	1,711
営業利益	192	26	219	7	226

(注) 1 事業区分は事業内容の実態を勘案して区分したものであります。

2 各事業の主な売上高

(1) 証券金融業……………貸付金利息、有価証券貸付料等

(2) 不動産賃貸・リース業…不動産、コンピューター、ソフトウェアの賃貸料

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

在外子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

該当事項はありません。

「参考」

【四半期財務諸表】

- ①四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。
 ②当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,718	1,616
有価証券	90,978	103,506
営業貸付金	116,197	129,984
借入有価証券代り金	317,968	447,896
その他	903	15,047
貸倒引当金	△ 487	△ 487
流動資産合計	527,280	697,563
固定資産		
有形固定資産	256	270
無形固定資産	941	1,019
投資その他の資産		
投資有価証券	14,964	12,816
その他	261	278
貸倒引当金	△ 1	△ 1
投資その他の資産合計	15,225	13,094
固定資産合計	16,423	14,384
資産合計	543,703	711,948
負債の部		
流動負債		
コールマネー	258,100	123,700
短期借入金	141,800	409,900
コマーシャル・ペーパー	—	57,000
貸付有価証券代り金	105,762	78,797
未払法人税等	10	267
賞与引当金	45	93
その他	6,235	10,619
流動負債合計	511,953	680,377
固定負債		
長期借入金	4,500	4,500
退職給付引当金	369	434
役員退職慰労引当金	202	354
その他	471	317
固定負債合計	5,543	5,605
負債合計	517,497	685,983

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	1,729	1,729
利益剰余金	19,990	19,848
自己株式	△ 86	△ 86
株主資本合計	25,133	24,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,073	973
評価・換算差額等合計	1,073	973
純資産合計	26,206	25,965
負債純資産合計	543,703	711,948

(2) 【四半期損益計算書】

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業収益	1,946
営業費用	1,130
営業総利益	816
一般管理費	638
営業利益	178
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	99
その他	9
営業外収益合計	109
営業外費用	
その他	0
営業外費用合計	0
経常利益	287
特別利益	
貸倒引当金戻入額	16
特別利益合計	16
税金等調整前四半期純利益	303
法人税、住民税及び事業税	2
法人税等調整額	50
法人税等合計	52
四半期純利益	251